

## 昭和58年度作況一覧

秋播小麦	大豆	小豆	ばれいしょ	てんさい
良	良	平年並	良	やや不良

### I. 気象概況

4月から10月までの概況は次のとおりである。

4月：

融雪期は4月2日で平年より1週間早かった。また気温は全般に高く、5月上旬並の気候であった。降水量は少なかった。日照時数は多かった。

5月：

全般に低温に経過し日照時数も少なく、降水量も少なかった。

6月：

月半ばより曇雨天の天候が続き、日照時数も少なく気温もかなり低く経過した。降水量は多かった。

7月：

全般に曇雨天となり、気温はかなり低く、日照時数も少なく、下旬は平年の50%程度の日照しかなかった。降水日数は多かったが降水量はやや少なかった。

8月：

上、中旬と夏らしい気候となり、気温も平年を上回ったが、下旬には平年並となり、日照時数も全般に少なかった。降水量はかなり少なかった。

9月：

上、中旬は平年並の気温で経過し、下旬はやや低くなった。降水量、日照時数共に少なかった。

10月：

気象変化が短い周期でおこったため、寒、暖の差が激しい月であったが、全般に低く経過した。また、日照時数も少なく、曇雨天の日が多く、降水量も多かった。

以上、農耕期間(4～10月)の積算平均気温は2925.2日度で平年(3114.7日度)より189.5日度少なかった。降水量は615.0mmで平年(866.4mm)より251.4mm少なく平年の71%であった。日照時数は1050.4時間で平年(1201.9時間)より151.5時間少なく平年の87.4%であった。全般を通じ、低温、寡雨、寡照であった。

## II. 昭和58年度の作況

### 1. 秋播小麦 昭和58年度の作況:良

事由:秋季は概ね高温に経過し、生育は順調であった。根雪始めは平年と大差なく融雪期が平年より7日早かったことにより雪腐病の発生は少なめであった。融雪当時より高温に経過し、初期生育が進み、出穂は早まったが、6月に入って極めて低温、寡照な気象に経過したため、草丈は伸長し、出穂揃及び開花に時間を要し、成熟期は平年に比べて5～6日遅れた。冬損が少なく、特に「タクネコムギ」は有効穂数化が高く、平年より穂数が多く、また登熟期間が延長したことにより「タクネコムギ」「ホロシリコムギ」ともに千粒重が重く、多収となった。10a当り子実重は「ホロシリコムギ」が560kg、「タクネコムギ」は577kgの高収を示し、平年対比はそれぞれ118%、141%であった。

以上により、昭和58年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		ホロシリコムギ			タクネコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(昭57.月.日)		9.9	9.12	△3	9.9	9.12	△3
出穂期(昭58.月.日)		6.10	6.14	△4	5.30	6.9	△10
成熟期(昭58.月.日)		8.1	7.27	5	7.27	7.21	6
草丈 (cm)	昭57.10月20日	21.4	18.7	2.7	22.3	23.6	△1.3
	5月20日	52.8	37.7	15.1	55.2	38.7	16.5
	6月20日	104	95.2	8.8	111.2	91.2	20
茎数 (本/㎡)	5月20日	946	961	△15	1018	754	264
	6月20日	582	507	75	738	507	231
成熟期に おける	稈長(cm)	104	96	8	101	92	9
	穂長(cm)	8.8	9.0	△0.2	7.8	8.8	△1.0
	穂数(本/㎡)	566	599	△33	656	521	135
子実重(kg/10a)		560	476	84	577	409	168
千粒重(g)		50.7	41.2	9.9	44.5	36	8.5
子実重平年対比(%)		118	100	18	141	100	41

注) 平年値は前7か年中、昭和52年、57年を除く5か年平均。ただし、草丈および茎数は前3か年平均。

2. 大豆 昭和58年度の作況: 平年並

事由: 播種は5月24日で平年より7日遅かった。出芽期は播種期がおくれた分だけ遅れ6月13日で平年より6日おそく出芽期に達した。出芽はタネバエの被害が目立ち悪かった。大豆の生育は前半が極低温、寡照に経過したため極めて悪く、7月20日ごろまでは平年の約半分の生育量であった。開花期は生育の遅れにより、大幅に遅れ平年比「北見白」は7日、「ユウヒメ」10日、「ユウヅル」7日遅れた。生育後半は8月に入り天候が回復し高温、多照に推移し生育の回復は著しく、8月後半にはほぼ平年並の生育量であった。成熟期は全般的に遅れ「北見白」が12日、「ユウヒメ」4日、「ユウヅル」は13日平年より遅れた。最終的には平年に比し、主茎長はやや短く、分岐数が少なく、主茎葉数はほぼ平年並で、着莢数は多かった。子実収量は「北見白」が着莢数は増加したが、百粒重は小さく一莢内粒数に低下により10%減収し「ユウヅル」は粒大は小さくなった着莢数が多く、ほぼ平年並の子実重であり、「ユウヒメ」は着莢数、粒大の増加により、8%増収した。品質は虫喰粒が少なく裂皮粒、しわ粒はほとんど見られないが、粒揃いがやや平年より劣った。

以上により、昭和58年度の作況は品種によって傾向を異にするが、総合的には平年並である。

品種名 項目/年次	北見白			ユウヅル			ユウヒメ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月.日)	5.24	5.17	7	5.24	5.17	7	5.24	5.17	7	
出芽期(月.日)	6.13	6.7	6	6.13	6.7	6	6.14	6.8	6	
開花期(月.日)	8.4	7.23	12	8.8	8.1	7	8.5	7.26	10	
成熟期(月.日)	10.15	10.3	12	10.22	10.18	4	10.18	10.5	13	
主茎長 (cm)	6月20日	3.8	8.8	△5.0	4.8	8.4	△3.8	5.8	9.8	△4.0
	7月20日	14.8	28.2	△13.4	14.0	25.2	△11.2	15.8	27.5	△11.7
	8月20日	50.2	52.5	△2.3	59.2	63.5	△4.3	54.2	52.5	1.7
	9月20日	50.8	53.0	△2.2	67.3	67.4	△0.1	55.4	50.5	4.9
	成熟期	47.7	52.6	△4.9	62.5	67.3	△4.8	51.6	52.7	△0.9
主茎葉数 (葉)	6月20日	0.1	0.8	△0.7	0.1	0.7	△0.6	0.1	0.9	△0.8
	7月20日	3.5	7.0	△3.5	3.3	6.6	△3.3	3.3	6.4	△3.1
	8月20日	11.4	12.3	△0.9	12.7	13.2	△0.5	11.9	11.0	0.9
	9月20日	13.7	13.4	0.3	15.6	14.7	0.9	12.9	12.0	0.9
	成熟期	12.6	13.0	0.4	14.8	15.0	△0.2	12.7	12.7	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	0.5	2.9	△2.4	0.5	1.7	△1.2	0.5	2.8	△2.3
	8月20日	3.9	5.7	△1.8	3.3	4.9	△1.6	5.4	5.6	△0.2
	9月20日	3.6	5.8	△2.2	4.4	5.2	△0.8	5.2	6.1	△0.9
	成熟期	4.0	6.0	△2.0	4.4	4.7	△0.3	4.4	6.1	△1.7
着莢数 (莢/株)	9月20日	70.9	72.8	△1.9	64.8	54.9	9.9	58.1	50.3	7.8
	成熟期	79.2	70.6	8.6	60.5	53.3	7.2	55	51.9	3.1
子実重(kg/10a)	284	314	△30	287	287	0	304	280	24	
百粒重(g)	25.3	26.8	△1.5	37.7	40.4	△2.7	43.2	42.7	0.5	
虫喰率(%)	0.2	0.5	△0.3	0.1	1.6	△1.5	0.3	1.5	△1.2	
品質(等級)	2	2	—	2	2	—	2	2	—	
子実重平年対比(%)	90	100	△10	100	100	0	109	100	9	

注) 平年値は前7か年中、昭和53年、56年を除く5か年平均。ただし、「ユウヒメ」は前4か年平均。

3. 小豆 昭和58年度の作況: 平年並

事由: 播種は5月20日、出芽はやや順調であったが出芽後は低温に持続し出芽揃までには日数が多く、その後も茎葉軟弱に経過した。8月上中旬が高温多照で生育の回復も見えたが開花期、成熟期共に遅れた。主茎は長く主茎節数、着莢数も多かったが、一莢内粒数が少なかった。登熟は早期に開花したのは順調に子実肥大したが遅れて開花したものは登熟に日数不足気味で粒色の淡いものが多かったが、子実重はほぼ平年並であった。

以上により、昭和58年度の作況は平年並である。

品種名 項目/年次		宝小豆		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		5.20	5.23	△ 3
出芽期(月.日)		6. 9	6.17	△ 8
開花期(月.日)		8. 5	7.29	7
成熟期(月.日)		9.26	9.11	15
主茎長 (cm)	6月20日	2.5	1.7	0.8
	7月20日	4.9	11.6	△6.7
	8月20日	41.7	35.3	6.4
	成熟期	54.4	35.2	19.2
主茎節数 (節)	7月20日	2.8	4.9	△2.1
	8月20日	12.0	10.8	1.2
	成熟期	12.0	10.8	1.2
分枝数 (本/株)	7月20日	0.2	0.9	△0.7
	8月20日	2.0	2.7	△0.7
	成熟期	1.9	2.4	△0.5
着莢数 (莢/株)	8月20日	18.0	30.1	△12.1
	成熟期	53.4	36.3	17.1
子実重(kg/10a)		221	227	△ 6
百粒重(g)		10.9	10.9	0
屑粒率(%)		2.4	2.5	△0.1
子実重平年対比(%)		97	100	△ 3

注) 平年値は前7か年中、昭和55年、56年を除く5か年平均。

4. ばれいしょ 昭和58年度の作況: 良

事由: 植付期は融雪状況が順調であったことと、4月中旬から5月上旬にかけて好天が続き、平年に比べ16日早い4月25日であった。萌芽期は約2週間早かった。しかし、6月下旬から7月にかけて低温寡照に経過し茎葉は徒長気味であり開花期もやや遅れたが適雨もあり塊茎肥大も順調であった(7月5日男爵いも試掘結果)。8月に入ってから高温多照に経過したため疫病の発生もなく枯凋期は「早生種」は平年より早く「中晩生種」は平年よりやや遅れたが両者とも上いも重はかなり重かった。

以上により、昭和58年度の作況は良である。

品種名 項目/年次		農林1号			男爵薯		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月.日)		4.25	5.10	△16	4.25	5. 9	△15
萌芽期(月.日)		5.23	6. 7	△15	5.23	6. 8	△16
開花期(月.日)		7. 4	7. 7	△ 3	7. 9	7. 8	1
枯凋期(月.日)		10. 1	9.27	4	8.20	9. 7	△18
茎長 (cm)	6月20日	39	17	22	33.2	13.9	19.3
	7月20日	85.7	49.5	36.2	57.2	37.5	19.7
	8月20日	85.7	49.5	36.2	57.2	37.5	19.7
茎数 (本/株)	6月20日	5.1	3.2	1.9	5	3	2
	7月20日	6.1	4.3	1.8	5.1	3.7	1.4
	8月20日	6.1	4.3	1.8	5.1	3.7	1.4
上いも重(kg/10a)		5,846	3,846	2,000	4,731	3,311	1,420
でん粉価(%)		14.7	14.4	0.3	14.7	13.4	0.9
上いも重平年対比(%)		152	100	52	143	100	43

注) 平年値は前7か年中、昭和51年、56年を除く5か年平均。「上いも」は20g以上の塊茎である。

5. てんさい 昭和58年度の作況:やや不良

事由:4月に入ってから好天により、ほ場の乾燥が進み、移植は平年より5日早い5月2日行った。移植後は適当な土壤水分に恵まれ、活着が良好であったため、その後の低温および強風の影響をほとんど受けることなく、初期生育は良かった。6月上旬から7月下旬まで極低温に経過したが、草丈の伸長は平年より旺盛であり、それにともない根部の肥大も平年より順調であった。8月に入ってから高温により、地上部の生育は更に促進され、草丈は依然として平年より高く、やや少なかった葉数も平年並に回復するとともに、根部の肥大も平年より良好であった。

登熟期の9～10月になっても地上部の草丈の伸長、葉数の増加は旺盛であり、それにともない根部の肥大は平年を上回った。その結果、収穫期の根重は平年に比べ約6%の多収であった。しかし、地上部の生育が収穫期になっても劣えなかったため、T/R比が平年に比べ高く、かつ、葉の退色が進まなかったため、登熟が遅れ、根中糖分は平年より10%低かった。そのため、糖量もやや低収であった。

以上により、昭和58年度の作況はやや不良である。

品種名(栽培法) 項目/年次		モノドリ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		3.31	4.2	△2
移植期(月.日)		5.2	5.7	△5
収穫期(月.日)		10.17	10.18	△1
草丈 (cm)	5月20日	6	5	2
	6月20日	25	21	4
	7月20日	52	45	7
	8月20日	57	51	6
	9月20日	60	56	4
	収穫期	63	51	12
葉数 (枚)	5月20日	4	3	1
	6月20日	8	10	△1.8
	7月20日	17	18	△1.2
	8月20日	25	24	1
	9月20日	29	29	0
	収穫期	31	29	2
根周 (cm)	7月20日	22	20	1
	8月20日	31	30	2
	9月20日	35	34	1
	収穫期	38	36	2
茎葉重(t/10a)		6.19	5.21	0.98
根重(t/10a)		6.37	6.00	0.37
根中糖分(%)		15.14	16.74	△1.60
糖量(t/10a)		946	1,004	△40
根重平年対比(%)		106	100	6
根中糖分平年対比(%)		90	100	△10

注) 平年値は前6か年平均。